

# ハンドボール

No. 5

Japan  
Handball  
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生

- 全国大会
- フロット大会
- 都道府県大会

- 成年男子
- 成年女子
- 少年男子
- 少年女子

試合  
番号 **12**

年月日 2018 年 9 月 15 日 (土)  
大会名 第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

## 公 式 記 録 用 紙

A 富山県										B 東京都																	
都道府県 富山県					市町村 福井市					会場 福井市体育館					回戦 準々決勝												
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B													
	21	7	38	24																							
7mT得点/総数	A	チームタイムアウト			チームタイムアウト			B	7mT得点/総数																		
	1/1	1	2	3	1	2	3	2/4	15:43																		
No.	富山県						G	W	2'	2"	D	DR	No.	東京都						G	W	2'	2"	D	DR		
1	戸谷 崇志						1						1	神保 龍之介													
2	朝野 暉英						4						2	布施 凜太郎						6							
3	杉本 歩夢						1	1					3	長谷見 健太						3							
4	安平 光佑						8		1				4	西田 翔太						1							
5	大井 良太郎						2						5	須田 駿之介						2							
6	江幡 哉音												6	青木 滉太						1							
7	窪田 礼央						7	1					7	高橋 大夢						4							
8	八木 泰陸						3						8	ポンゴラン シェーン海楼						1							
9	林 賢駿						1		1				9	青 雅俊						6							
10	清水 裕翔						9		1				10	平城 太一													
11	坂 直哉						2						11	仁藤 雄斗													
12	紅出 勘太郎												12	河村 直人													
役員A	徳前 紀和												役員A	高島 幸嗣													
役員B	酒井 政勝												役員B	酒井 博史													
役員C	谷内口 功気												役員C	仲野 学													
役員D	笠尾 淳												役員D	青木 真理子													
A	チーム役員A署名										B																
特記事項																											

レフェリー	畑中 寛之	梅木 信男		
T D	大谷 英之	前田 瑛士		
JHAオフィシャル	柴田 俊之			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール

No. //

(No. 4の言)止)

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

## 試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9/15(土)			試合番号	12
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
富山県			東京都		
得点合計	小計		小計		得点合計
38	21		7		24
	17		17		
			前半		
			後半		
			第1延長前半		
			第1延長後半		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

大会3日目、少年男子準々決勝1試合目。春の選抜、夏のインターハイを制した氷見高校のメンバーがそろそろ富山県と、昨日、兵庫県との激闘に逆転勝利した東京都の試合。富山県のスローオフで始まった。開始2分半、富山県の固い守りからの速攻で、⑩清水が2得点を連取する。その後も、富山県④安平を中心とした多彩な攻めで4対0とし、富山県がスタートダッシュに成功する。しかし、その後、富山県のミスが目立ち、東京都が速攻から3連取し、前半10分で4対3と1点差まで詰め寄る。その後、東京都は7人攻撃を仕掛けたりと攻撃に変化を付けるが、富山県のDFを崩すことができない。富山県は、電光石火の速攻で5連取し、9対3とする。東京都は前半16分にタイムアウトを取り、流れを断ち切ろうとするが、⑦窪田・①GK戸谷を中心とした鉄壁な守りに苦しみ、21対7と富山県の一方的な展開となった。前半は、富山県の堅守速攻が目立つ試合となった。

後半は、前半同様に富山県⑩清水の速攻の得点から始まった。東京都は2:4DFに切り替え、富山県のパスワークを乱そうとしてくる。しかし、富山県は落ち着いたプレーで、⑧八木のポストシュート・③杉本のサイドシュートで確実に得点を重ねる。東京都も⑦高橋のサイドシュート・⑨青のポストシュートで食らいつき、後半15分を30対14で折り返す。その後は一進一退の競り合いが続き、後半25分で37対20。後半になり、富山県は2人の退場者を出す。東京都は前半で開いた点差を詰めることはできず、38対24で富山県が勝利した。富山県が東京都の早い速攻をものともせず、力の差を見せつける結果となった。

記載者氏名

長谷川 広祐

送信日時

月 日 ( )

送信者署名